

中学校音楽 解答例

1	(1)	同じ音が続くとき、押さえている指を指孔から一瞬離し、すぐにふさぐ奏法。				3点		
	(2)	箏の奏法の一つで、指づかいを変えずに芦舌のくわえ方と息の吹き込み方で音の高さを変化させ、旋律に装飾的な動きを付けること。				3点		
	(3)	読み方：ラルゴ		意味：幅広く緩やかに		完全解答 3点		
	(4)	読み方：メーノ モツ		意味：今までより遅く		完全解答 3点		
	(5)					3点		
2	(1)	曲名 浜辺の歌		作曲者名 成田為三		各2点		
	(2)					4点		
3	(1)	アポヤンド奏法は、旋律を弾いたり低音をしっかり鳴らしたりするときに適しており、弦をはじいた指を隣の弦に当てて止めるのに対し、アル アイレ奏法は、和音やアルペッジョで弾くときに適しており、弦をはじいた指は手のひらの方向へ動かす。				3点		
	(2)	ア	三線	イ	中棹	ウ	本調子	各2点
	(3)	①	ウード	②	ケーナ	③	カヤグム	各3点
4						4点		

著作権法により掲載を省略します。

5	(1)	作詞者名 江間章子	作曲者名 中田喜直	各2点				
	(2)	①	歌唱表現に関わる音楽記号が細かく指定されているため、生徒が記号のみに注目して歌唱しようとしてしまい、歌詞の内容と曲想との関わりを理解した上で歌唱できない。		3点			
		②	歌詞を音読させ、作詞者の意図を考えた上でなぜこのような音楽記号が示されているのかを考えさせる。そのときに、実際に何度か歌唱しながらふさわしい表現を試行させる。		3点			
6	(1)	①	まとまり	②	イメージ	③	つながり方	各3点
		④	音素材	⑤	組合せ			
	(2)	人間にとっての音や音楽の存在意義について考えたり、生活や社会におけるよりよい音環境を希求したりする意識。						4点
	(3)	指揮をするための基本的な技能は必要になるが、指揮法の専門的な技術を習得するような活動にならないようにする。						4点
7	(1)	①	北海道					2点
		②	日本の民謡の声や音楽の特徴を生かして、歌ったり味わって聴いたりしよう。					3点
			選択した要素	音色, リズム, 速度, 旋律, テクスチャ, 強弱, 形式, 構成のうち2つ選択				完全解答 3点
	③	選択理由 ※要素で「音色, 旋律」を選択した場合 民謡独特の声について理解するとともによさを味わわせたいため、音色を選択した。 また、民謡の音楽の特徴について理解させるために旋律を選択した。						4点
	(2)	①	ラヴェル					2点
		②	1時間目 2種類の旋律がどのように繰り返され、どの楽器で演奏されているのかを聴取り、感じたことやわかったことをまとめる。					完全解答 4点
2時間目 曲を通して聴き、よさや面白さをまとめた紹介文を書いて仲間と交流する。								
③	<ul style="list-style-type: none"> 第1学年で取り扱う曲よりも、複雑な構造をもった曲を取り上げるなど、単に音楽の構造がどのようなになっているかについて知る、ということに留まるのではなく、生徒が感じ取った曲想と音楽の構造との関わりを理解を深められるようにする。 第1学年の学習を基盤とし、その音楽固有の雰囲気や表情、味わいなどが、どのような音楽の構造によって生み出されているのかを捉えていくようにする。 						4点	